

平成27年度9月補正予算の概要

平成27年9月萩市議会定例会

平成27年9月

萩市総務部財政課

■ 今回補正する会計及び各会計の補正予算額

補正予算を計上する会計は、一般会計（全 17 事業のうち新規 8 事業）、国民健康保険事業（事業勘定）特別会計（全 4 事業）、後期高齢者医療事業特別会計（全 1 事業）、介護保険事業特別会計（全 3 事業）、簡易水道事業特別会計（全 1 事業）の 5 会計です。

補正予算を計上する会計	補正号数 (回数)	今回の補正予算額
一般会計	第 2 号	2 億 2,001 万 6 千円
国民健康保険事業（事業勘定）特別会計	第 1 号	1 億 359 万 2 千円
後期高齢者医療事業特別会計	第 1 号	1,498 万円
介護保険事業特別会計	第 1 号	1 億 44 万 9 千円
簡易水道事業特別会計	第 1 号	1,730 万 2 千円
今回の補正予算額 計		4 億 5,633 万 9 千円

今回の補正は、5 会計で全 26 事業（うち新規 8 事業）

■ 一般会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、世界文化遺産登録を受け構成資産をPRする事業及び新たな誘客につなげる仕組みを構築するための実験・実証事業並びに市民が行うおもてなしの取組を支援する事業、個人情報を守るため情報セキュリティの向上を図る事業、一人暮らしの高齢者等が安心して生活を送れるよう支援する事業、新規就業者確保のために農事組合法人が行う住宅確保対策を支援する事業、法改正に伴い選挙人名簿登録電算システムを改修する事業、萩市東部集中豪雨災害の復旧工事を進めるなかで必要になった市道の舗装や路肩補修等の災害復旧事業、さらに、前年度事業費の確定に伴い補助金等の精算を行う事業等、市勢の発展及び市民の生活を守るために必要な事業を計上するものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
319億9,616万円9千円	2億2,001万6千円	322億1,618万5千円

※今回の補正は、全17事業（うち新規8事業）

3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
地方交付税	9,481万6千円	普通交付税
国庫支出金	7,471万3千円	
県支出金	608万7千円	
寄附金	300万円	
市債	4,140万円	
合計	2億2,001万6千円	

4. 歳出予算の主な事業内容

◆＜新規＞見島診療所等職員住宅整備事業（4,077万9千円）

【予算説明書8ページ 一般管理費】
（担当課：総務課）

見島診療所等に勤務する島外出身者の住居を確保するため、必要な経費を補正します。

- 事業内容：○設備設計監理業務
○地質調査業務
○見島診療所等職員住宅整備工事
1LDK 3戸（1戸当たり面積36.96㎡）

[財源内訳] 市債 4,050万円
一般財源 27万9千円

◆ふるさと寄附推進事業（300万円）

【予算説明書8ページ 企画費】
（担当課：企画政策課）

「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産として登録されたことに伴い、萩市の5資産の環境整備を目的とした寄附があったことから、「あなたのふるさと萩応援基金」に積立を行います。

寄附者：萩山口信用金庫

事業内容：寄附金の積立

[財源内訳] 総務費寄附金 300万円

◆<新規>世界文化遺産活用推進事業（5,909万円）

地方創生（先行型）

【予算説明書8ページ 世界遺産推進費】
（担当課：企画政策課）

閉館後の大河ドラマ館を活用して、（仮称）世界文化遺産情報発信館を開設するとともに、萩市の5資産を結び世界文化遺産を活用した学ぶ観光を推進し、新たな誘客につながる仕組みを構築します。

事業内容：○世界文化遺産を活用した学ぶ観光の実験・実証事業
CGによる大板山たたら製鉄遺跡等の再現
構成資産巡りモニターツアー等の実施
（仮称）世界文化遺産情報発信館整備構想の作成
○構成資産PR事業
構成資産紹介動画の制作
ARアプリ及びQRコード等を活用した構成資産のPR
○大河ドラマ館を活用した（仮称）世界文化遺産情報発信館の運営

[財源内訳] 総務費国庫補助金 5,909万円

◆＜新規＞世界遺産登録推進協議会負担金事業（500万円）

地方創生（先行型）

【予算説明書 8 ページ 世界遺産推進費】
（担当課：世界文化遺産課）

世界文化遺産に登録された明治日本の産業革命遺産は、萩市の5資産を含む23資産で構成され、今後はそれら一連の産業遺産群全体について理解を深め、周知していくため、協議会に対し必要な経費を負担します。

事業主体：世界遺産登録推進協議会（関連する8県11市で構成）

萩市負担金額：500万円（8県11市同額の負担）

事業内容：○スマートフォン等で利用できるガイドアプリの開発
○構成資産の画像、テキストガイド、古写真等のコンテンツ制作

〔財源内訳〕 総務費国庫補助金 500万円

◆総合行政システム運用事業（1,021万1千円）

【予算説明書 8 ページ 情報政策費】
（担当課：情報政策課）

マイナンバー制度導入に伴い、国の仕様に沿って他団体と情報を共有する情報提供ネットワークに接続するため、必要な経費を補正します。

事業内容：中間サーバ接続用端末の環境整備

〔財源内訳〕 一般財源 1,021万1千円

◆庁内LAN運用事業（375万5千円）

【予算説明書 8 ページ 情報政策費】
（担当課：情報政策課）

サイバー攻撃の一種であるメールを使った標的型攻撃に対応するため、個人情報を漏えいさせない環境を整備します。また、データを暗号化することにより、万が一個人情報を含んだデータが外部に持ち出された場合の対応も行います。

事業内容：個人情報のセキュリティ強化

〔財源内訳〕 一般財源 375万5千円

◆＜新規＞福栄地域世界文化遺産おもてなし支援事業（1,222万4千円）

地方創生（先行型）

【予算説明書 8 ページ 地域調整費】
（担当課：企画政策課）

世界文化遺産に登録された大板山たたら製鉄遺跡を訪れる観光客に対して、地元住民で運営する福栄文化遺産活用保存会が中心となっておもてなし活動を展開することから、その活動に必要な経費について支援します。また、観光客の利便性の向上を図るため、周辺施設に無料の公衆無線 LAN（Wi-Fi）環境等の整備を行います。

事業内容：○福栄文化遺産活用保存会の活動支援
遺跡ガイドの養成及び実施、おもてなし店舗の開設
○大板山たたら製鉄遺跡等の無料公衆無線 LAN の設置
○観光客受入れのための環境整備
案内用ツール（タブレット）の整備、案内看板の修繕・設置

〔財源内訳〕 総務費国庫補助金 900万円
総務費県補助金 322万4千円

◆<新規>阿武川ダム完成 40 周年記念事業（50 万円）

【予算説明書 9 ページ 地域調整費】
（担当課：市民活動推進課）

阿武川ダムの完成により、水害や水不足等の問題は解消され、流域・周辺住民の生活環境は大きく改善しました。しかし、ダム建設における川上・福栄地域9集落204戸の水没等の多くの犠牲のもとに、今日の安心・安全な暮らしがあります。

このことを忘れることなく後世に継承するため、40年の節目の記念事業の開催に必要な経費を支援します。

事業主体：阿武川ダム完成40周年記念事業実行委員会

事業内容：○阿武川ダム完成40周年記念講演会・パネル展
○ふるさと里帰り懇談会
○長門峡と高島北海特別展

[財源内訳] 一般財源 50万円

◆選挙人名簿登録電算システム改修事業（142 万円）

【予算説明書9ページ 選挙管理委員会費】
（担当課：選挙管理委員会事務局）

公職選挙法の改正による選挙権年齢の 18 歳への引き下げに伴い、選挙人名簿登録の電算システムを改修するため、必要な経費を補正します。

事業内容：選挙人名簿登録電算システム改修業務委託

[財源内訳] 総務費国庫補助金 71 万円
一般財源 71 万円

◆補助金返還事業（7万5千円）

【予算説明書 10 ページ 老人福祉総務費】
（担当課：高齢者支援課）

平成 26 年度の社会福祉法人等利用者負担軽減事業費及び離島等地域利用者負担軽減事業費の確定に伴う山口県からの超過交付分を返還するため、必要な経費を補正します。

事業内容：山口県に 7 万 5 千円を返還

[財源内訳] 一般財源 7 万 5 千円

◆＜新規＞高齢者元気回復短期入所環境整備事業（3,287 万 5 千円）

【予算説明書 10 ページ 老人福祉施設費】
（担当課：高齢者支援課）

一時的に在宅生活に不安のあるひとり暮らし等の高齢者の方を対象に、短期間の施設（生活支援ハウスやまびこ）入所を促すことにより元気回復につなげ、再び安心して在宅生活が送れるよう支援する事業を実施するため、必要な施設整備を行います。

事業内容：○福祉複合施設やまびこ内の施設改修
生活支援ハウス短期入所者用個室 6 部屋増設
○施設用備品購入等
○弥富地区周辺の高齢者の方を対象に平成 28 年 4 月開始予定

[財源内訳] 一般財源 3,287 万 5 千円

◆＜新規＞新規就業者受入体制整備費支援事業（182万6千円）

地方創生（先行型）

【予算説明書11ページ 農業振興費】
（担当課：農林振興課）

農事組合法人が新規就業者用の住宅として借り受けた空き家の改修について、必要な経費の一部を支援します。

事業主体：農事組合法人 本郷原

補助金額：182万6千円

（内訳）・萩市 91万3千円（補助対象事業費の1/3）
・山口県 91万3千円（補助対象事業費の1/3）

〔財源内訳〕 農林水産業費国庫補助金 91万3千円
農林水産業費県補助金 91万3千円

◆＜新規＞高校生寮整備事業（79万7千円）

【予算説明書11ページ 事務局費】
（担当課：教育委員会総務課）

寄附を受ける建物を離島や遠隔地等の通学困難な高校生を対象とした女子寮として整備し活用するに当たり、その建物の出入り口となる土地を取得するため、必要な経費を補正します。

事業内容：土地購入（地目：宅地 面積：38.87㎡）

〔財源内訳〕 一般財源 79万7千円

◆林業施設災害復旧事業（300万円）

【予算説明書12ページ 林業施設災害復旧費】
（担当課：農林振興課）

平成27年7月17日の台風11号により林道三見木間線の法面が崩壊したため、復旧工事を行います。

事業内容：林道三見木間線 被災延長 L=22m W=5m

[財源内訳] 災害復旧費県補助金 195万円
市債 90万円
一般財源 15万円

◆土木施設災害復旧事業（萩市東部集中豪雨災害）（3,747万3千円）

【予算説明書12ページ 土木施設災害復旧費】
（担当課：都市基盤復興事業部）

萩市東部集中豪雨災害の復旧工事を進めるなか、大型工事車両等の通行により傷んだ市道の舗装や路肩補修等の災害関連工事を追加して行うため、必要な経費を補正します。

事業内容：○舗装補修工事（19件）
○災害関連工事（20件）

[財源内訳] 一般財源 3,747万3千円

■ 国民健康保険事業（事業勘定）特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、後期高齢者支援金及び前期高齢者納付金の負担額が確定したことに伴う支払経費、前年度の剰余金を基金に積み立てる経費、前年度の療養給付費等負担金等の確定に伴う返還金を予算計上するものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
83億5,850万円	1億359万2千円	84億6,209万2千円

※今回の補正は、全4事業

3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
国庫支出金	53万3千円	
県支出金	11万7千円	
繰越金	1億294万2千円	前年度繰越金
合計	1億359万2千円	

4. 歳出予算の事業内容

◆後期高齢者支援金事業（130万3千円）

【予算説明書21ページ 後期高齢者支援金】
（担当課：市民課）

後期高齢者の医療費に係る保険者負担金について、負担金額が確定したことから、必要な経費を補正します。

〔財源内訳〕 療養給付費等負担金 41万6千円
財政調整交付金（国） 11万7千円
財政調整交付金（県） 11万7千円
一般財源 65万3千円

◆前期高齢者納付金事業（12万3千円）

【予算説明書21ページ 前期高齢者納付金】
（担当課：市民課）

前期高齢者の医療費に係る保険者負担金について、負担金額が確定したことから、必要な経費を補正します。

〔財源内訳〕 一般財源 12万3千円

◆国民健康保険基金管理事業（2,295万1千円）

【予算説明書22ページ 国民健康保険基金積立金】
（担当課：市民課）

国保財政の基盤安定・強化を図るため、平成26年度に生じた剰余金を国民健康保険基金に積み立てます。

〔財源内訳〕 一般財源 2,295万1千円

◆補助金返還事業（7,921万5千円）

【予算説明書22ページ 償還金】
（担当課：市民課）

平成26年度の療養給付費等負担金及び退職者医療療養給付費等交付金の精算に伴い、各関係機関からの超過交付分をそれぞれ返還するため、必要な経費を補正します。

事業内容：○国に7,822万450円返還
○社会保険診療報酬支払基金に99万4,670円返還

返還金合計：7,921万5,120円
※返還金補正後予算額7,921万6千円

〔財源内訳〕 一般財源 7,921万5千円

■ 後期高齢者医療事業特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、平成26年度の保険料の負担金額が確定したことから、山口県後期高齢者医療広域連合に支払うための必要な納付金を予算計上するものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
8億9,780万円	1,498万円	9億1,278万円

※今回の補正は、全1事業

3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
繰越金	1,498万円	前年度繰越金

4. 歳出予算の事業内容

◆後期高齢者医療広域連合納付金事業（1,498万円）

【予算説明書28ページ 後期高齢者医療広域連合納付金】
(担当課：市民課)

平成26年度の保険料について、後期高齢者医療に要する費用に充てるため、保険料負担金を広域連合に納付します。

支払先：山口県後期高齢者医療広域連合

[財源内訳] 一般財源 1,498万円

■ 介護保険事業特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、介護保険制度改正に対応した電算システムの改修、平成26年度の介護給付費及び地域支援事業の精算に伴う返還金並びに平成26年度に生じた剰余金の介護給付費準備基金への積立を予算計上するものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
65億4,240万円	1億44万9千円	66億4,284万9千円

※今回の補正は、全3事業

3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
国庫支出金	192万8千円	
県支出金	96万4千円	
繰入金	259万2千円	一般会計繰入金
繰越金	9,496万5千円	前年度繰越金
合計	1億44万9千円	

4. 歳出予算の事業内容

◆介護保険電算システム運用事業（259万2千円）

【予算説明書35ページ 一般管理費】
（担当課：高齢者支援課）

新しい総合事業の実施に伴う電算システムの改修と併せて現在3つに分かれている介護認定に係る電算システムを1本化し業務の効率化を図るため、必要な経費を補正します。

事業内容：○電算システム改修業務委託
○スキャナー、OCRライセンス等の購入

[財源内訳] 一般財源 259万2千円

◆介護給付費準備基金管理事業（4,525万9千円）

【予算説明書35ページ 介護給付費準備基金積立金】
（担当課：高齢者支援課）

平成26年度に生じた剰余金を介護給付費準備基金に積み立てるため、必要な経費を補正します。

[財源内訳] 一般財源 4,525万9千円

◆補助金返還事業（5,259万8千円）

【予算説明書36ページ 償還金】

（担当課：高齢者支援課）

平成26年度の介護給付費及び地域支援事業の精算に伴い、各関係機関からの超過交付分をそれぞれ返還するため、必要な経費を補正します。

事業内容：○国に 2,303万7,025円返還
○山口県に 984万5,375円返還
○社会保険診療報酬支払基金に 1,971万6,188円返還

返還金合計：5,259万8,588円
※返還金補正後予算額 5,259万9千円

〔財源内訳〕 一般財源 5,259万8千円

■ 簡易水道事業特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、山口県が行う被災した田万川の河川改修事業等に伴い橋りょうに添架している配水管を移設するため、必要な経費を予算計上するものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
6億2,140万円	1,730万2千円	6億3,870万2千円

※今回の補正は、全1事業

3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
繰入金	539万9千円	一般会計繰入金
諸収入	1,190万3千円	雑入
合計	1,730万2千円	

4. 歳出予算の事業内容

◆配水管移設事業（河川改修事業等関連）（1,730万2千円）

【予算説明書42ページ 施設建設費】
（担当課：水道管理課）

山口県が行う田万川河川改修事業等に伴い田万川に架かる橋りょうの架け替えが行われることから、橋りょうに添架している配水管を移設するため、必要な経費を補正します。

事業内容：○配水管の移設（宇のす橋、炭久保橋、高岩橋）

[財源内訳] 一般財源 539万9千円
雑入（配水管移設費県負担金） 1,190万3千円